

リアルタイム RAM モニタリングツール

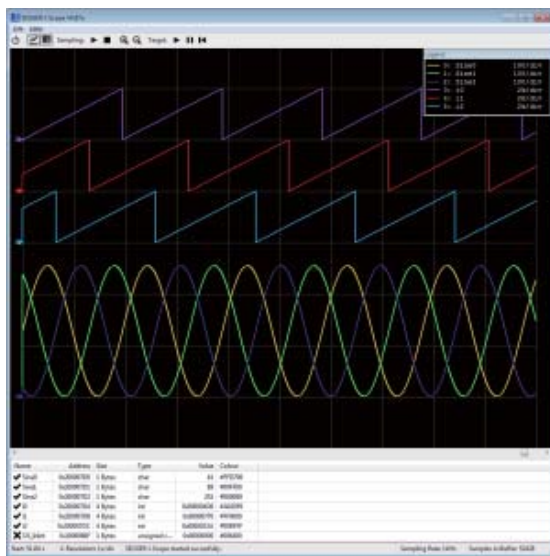
J-Scope

J-Link 無償提供ソフトウェア

実測サンプリングレート
28.5 μ sec
Cortex-M4

各種
統合開発環境
と共に
利用可能

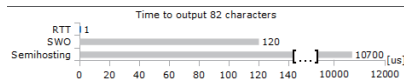
ハードウェア
リソース不要



■ J-Scope 製品仕様

波形測定チャンネル	仕様上100ch (実運用上、10ch程度を推奨)
数値表示変更チャンネル	仕様上100ch (実運用上、11ch程度を推奨)
トリガモード	Single (トリガ・スロープ: 立上がり、立下がり、両方)
トリガソース	測定チャンネル
データ管理	波形データSave / Load機能
波形表示画面	メイン画面のみ
使用ポート	SWD (デバッグ専用ポート)
使用周辺機能	No additional hardware are needed. ターゲット側のハードウェアリソースが不要
ターゲット側電源電圧	1.2V ~ 5V (デバッグアダプタの対応範囲)
絶縁	J-Link PROのEthernetポートは絶縁
通信方式	SWD HSSモードはライブラリ不要(ただし低速) RTTモードはライブラリ使用
通信レート	SWD: 4MB/s
外部トリガ IN/OUT	無し
最小転送周期 (サンプリングレート)	HSSモード 4-byte変数x8 (=32byte)の場合 200us(5kHz) RTTモード 4-byte変数x8 (=32byte)の場合 50us(20kHz) 2-byte変数x8 (=16byte)の場合 28.5us(35kHz)
最大レコード長	16MB 4-byte変数x8(20kHzサンプリング)の場合で25秒
対応MCU	Cortex-M0, M0+, M1, M3, M4, M7 RX100, RX200, RX600

SWO トレースよりも高速なリアルタイム通信



■ 82charactersの出力に要する時間 (メーカーベンチマークデータより)

J-Link RTT

J-Link 独自のリアルタイム通信技術 (無償提供)

ARM 標準の SWO インターフェースより高速な通信技術により、マイコンの負荷を軽減、データ欠損を防ぐことが可能です。マイコンへのフットプリントは非常に小さいため (ROM:500B、RAM:24B+24Bxチャンネル) 量産用ソフトウェアにも実装可能です。

J-Link シリーズ

50万台以上の販売実績、多くの統合開発環境に対応

各種 IDE で利用可能
IAR Embedded Workbench / Keil MDK / SEGGER Embedded Studio



モータ制御アプリケーション開発時に絶縁アダプタ
J-Link アイソレータ